



関西最大級！約50万株の球根花壇 チューリップ。 ほぼ見ごろを迎えました！



見ごろを迎えているチューリップ（2019年3月27日(ポプラの丘で撮影)

淡路島国営明石海峡公園では、約220品種約19万株のチューリップが、ほぼ見頃を迎えました。

見頃のピークは4月14日頃までで、4月中旬頃まで遅咲きの品種がご覧いただけます。

園内各所で咲く色とりどりのチューリップのほか、約20万株のムスカリもご覧いただけます。

また4月21日まで、「チューリップアイランドパーティー」を開催。ミニチュア風車の展示(東浦口ゲート前)や、4/6から週末にはオランダ衣装体験など、本場オランダの雰囲気を楽しめるほか、チューリップの花びらを使った草木染め体験(4/14)も行います。



お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・瀧本

TEL: 0799-72-2000 FAX: 0799-72-2100

ホームページ: <http://www.awaji-kaikyopark.jp/> 最新情報は“明石海峡公園”で検索。

この資料や画像はメールでお送りできますのでお問い合わせください。

国営明石海峡公園といえば…チューリップ

●チューリップってどんな花？

チューリップはユリ科の球根植物で、原産地は中央アジアから地中海沿岸。トルコからヨーロッパに伝えられる時、花の名前を尋ねられた通訳がターバンのことと勘違いして「ターバン（トルコ語でドゥルバン）」と答え、ドゥルバン→チュリッパム→チューリップとなったといわれています。日本へは鬱金香（うっこんこう）という名前でオランダから伝えられ、今では春の代表的な花として親しまれています。



●明石海峡公園のチューリップは？

★球根植物の株数・品種数は関西最大級 !!

チューリップ（約 220 品種約 19 万株）、ムスカリ（約 20 万株）、アネモネ（約 2 万株）と株数・品種数は関西最大級！多彩な花の風景をお楽しみいただけます。



園内の 見どころ をご紹介します。



ポプラの丘 （3月27日撮影）
青いムスカリと、赤白ピンクと単色のチューリップの他、混色のチューリップもご覧いただけます。



ムスカリ(写真左)
ブドウの房のような花が見ごろになると、一面ブルーの絨毯を広げたように美しい。

八重咲きチューリップ(写真右)
バラのように見えますが、これもチューリップ。ゴージャスで華やかな花は目を惹きます。



花火鳥 大地の虹の花火鳥は、青色系のビオラで「海」を表現しています。



大地の虹 北花壇(写真)は、早咲きのチューリップが虹のように咲いています。南花壇は模様の花壇です。（3月29日撮影）

チューリップが咲き終わる頃には淡いブルーの花がかわいい「ネモフィラ」が見ごろになります。こちらもお見逃しなく！！